

市民教授 個人票

No. L54

分野 クラフト全般		氏名 前田潤子				
住所	日立市大沼町			生年	1965 年	
Tel	34-5595	Fax	34-5595	E-mail	maeda15hidamari@yahoo.co.jp	
				謝礼	相談	
指導場所	相談		指導方法	実技 クラフトとは多種多様な手工芸を取り入れて物や形にしていること、例えばトールペイントと紙粘土、UVレジン、樹脂粘土、フェルト細工等々、手づくりの良さ、自分のデザインを楽しく、気軽に、はじめての方でも取り組めるようにご提供します。		
曜日時間	相談					
自己PR	トールペイントの講師をして13年 0 、トールペインティングに加えてクラフト・日用雑貨(板、缶、瓶、布など)多種取り入れて、絵を描いたり、粘土で造形など楽しめる時間を提供しています。					
指導中の自主グループ	グループ名	指導場所	会員数	ゲストティーチャー歴(4年以内)		
	ペイントクラブ	大沼交流センター	10	十王中学校、大沼小学校PTA、大沼幼稚園PTA		
	大人のアトリエ	さくら茶房	4	ライフケア大沼、山水苑塙山、山水苑滑川		
				生き生き百年塾企画、百年塾フェスタ		
最近の指導歴 ※ 2年以内	講座名		開催場所	実施回数	参加者数	備考
	レッツペインティングを年1回		教育プラザ	計7回	40	
	季節のペイントを月1回		大沼交流センター	計48回	500	
	大人のアトリエ		さくら茶房	計12回	45	
	高齢者施設3施設		日立市内3施設	計40回	500	
	百年塾フェスタ		マーブルホール	5	100	
大沼小学校PTA研修会		大沼小学校	1	25		
表彰歴・資格	ペイントクラフトデザインズ 入選 公益財団法人 日本手芸普及協会 ペイント指導員					
講座のレベル	<input type="radio"/> 初級(その分野を初めて経験する人を対象)					
	<input type="radio"/> 中級(簡単な指導でやっていける程度の人を対象)					
	<input type="radio"/> 上級(講師を目指す人を対象) * 自宅教室にてカリキュラム専攻 講師取得可能					
指導風景・作品写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>前田</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>					
講座企画者への連絡	材料は100円均一(別税)などからも安価に用意できます。道具も貸し出し可能です。 製作時間は30分から最大で3時間まで、多様な作品をご紹介します。 材料費、講師料など込みで500円からご相談にのります。					



2020.7.20 (第141号-4)

よろしく 市民教授です!

新型コロナウイルスの拡大防止で、家で過ごす人や時間が多くなりました。ストレス解消や体力維持のために、子どもたちといっしょに、ご家庭で気軽にできることを学んでみませんか。

楽しくオリジナルな作品を

前田潤子さん (クラフト全般)

日用雑貨にトールペインティング、UVレジンアクセサリ及びデコパージュ、粘土細工、カルトナージュ (布張りの入れ物)、新聞の貼り絵など、わかりやすく指導します。

夏の思い出に、あなただけの楽しい作品を作ってみませんか?



壁掛けと写真立て

骨盤の歪みをなおして健康に

石川正之さん (健康体操～骨盤調整～)



骨盤の歪みは背骨を歪め、姿勢を悪くしたり神経の働きを悪くするなど、免疫力の低下の原因にもなります。

歪みをチェックして、コロナウイルスに負けない免疫力を身に着けるためにも、骨盤の歪みを整えましょう。

両ひざを立てて左右に30回たおします。※なるべくひざが床に近づくまでたおします。

マスクケースも美しく

大高明子さん
(カルトナージュ、
トールペインティング)

カルトナージュはフランス語で「厚紙細工」の意味で、厚紙で作った箱に布や紙を貼って美しく仕上げます。

今の時期に合わせて、クリアファイルでもマスクケースを作ってみました。



カルトナー
ジュのマスク
ケース
←



クリアファイル
で作ったマスク
ケース →

「よみうりタウンニュース」に紹介されました

地域

総合版

よみうりタウン



日立

シーマーク屋上にだまし絵

日立市東滑川町の複合型商業施設「シーマーク」は、オブジェの前を歩くスクエア「屋上広場」にあと、動物が顔を横に動かパンダのオブジェと、原画を持つ前田さん

パンダが見つめている!?

して自分の姿を追っているように見えるという不思議な感覚が楽しめるトリックアート。
オブジェは高さ1メートル前後で、ライオン、キリン、ゾウ、レッサーパンダ、パンダの絵が描かれている。トリックを楽しむには、オブジェから2〜3メートルの距離を保って移動することがポイント。片目を覆って一方の目で見ながら歩くと、よりわかりやすいという。
このオブジェは、トリックアートの研究をしている茨城大学工学部の矢内浩文准教授が考案したもの。絵は、同市のト

ルペイント作家の前田潤子さんが担当した。矢内さんのトリックアートは、2016年に

よみうり タウンニュース

2020年9月17日 No.1712

は同市内の商店街に展示された。今回のオブジェの中で、パンダは新作。県や同市がパンダの誘致活動に取り組んでいることを受け、「活動の応援になれば」と、同施設の提案

を受けて製作したという。
絵を担当した前田さんは「地元日立を盛り上げたいという思いも込めた。楽しんでもらえたら」と、話している。